

要 望 書

平成30年4月

大 分 県 市 長 会

平成 30 年春のダイヤ改正等に対する要望書

平成 30 年 3 月 17 日の春のダイヤ改正により、大分県内においては、日豊、久大、豊肥の 3 線で大幅な減便や運行区間の短縮が行われました。また、計画されている 8 駅のうち日豊線の牧駅にスマート・サポート・ステーションを導入し 4 月 1 日から無人化されたところであり、今後順次スマート・サポート・ステーションを導入し無人化することとなります。

これらは、鉄道路線の維持のための収支改善に向けた取組の一環であるとのことですが、沿線地方自治体や住民への十分な説明がなされないまま実施されたものであり、利用者には利便性が大きく低下し多大な影響を及ぼしております。

本県の鉄道は、通勤や通学、通院、買い物など地域住民の暮らしを守る生活路線としてだけでなく、観光交流や地域間交流の基盤としての役割・機能を担っていることから、貴社が実施された在来線の大幅な減便や運行区間の短縮、駅の無人化は、地方創生を進めている県内全体の活性化にも、悪影響を及ぼすものであります。

本来、貴社には、効率的な事業運営のみならず、鉄道事業の公益性を踏まえた企業の社会的責任を果たすため、沿線地域の交通利便の確保に努めることが求められていると考えます。

つきましては、このたびの大幅な減便や運行区間の短縮について早急に見直すとともに、スマート・サポート・ステーションの導入については地域住民の意見等を十分受け止め慎重な検討を要望します。

九州旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 青柳 俊彦 殿

平成30年4月24日

大分県市長会会長 佐藤 樹一郎

大分市長	佐藤樹一郎
別府市長	長野恭紘
中津市長	奥塚正典
日田市長	原田啓介
佐伯市長	田中利明
臼杵市長	中野五郎
津久見市長	川野幸男
竹田市長	首藤勝次
豊後高田市長	佐々木敏夫
杵築市長	永松悟
宇佐市長	是永修治
豊後大野市長	川野文敏
由布市長	相馬尊重
国東市長	三河明史